

# 令和4年度 第2回さいたま市民大学運営委員会 議事録

## 1 開催日時

令和4年11月1日（火） 午後2時から午後3時30分まで

## 2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

## 3 出席者

〈委員：8名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 安藤 陽 副委員長
- ③ 飯塚 真澄 委員
- ④ 井上 直也 委員
- ⑤ 桑原 静 委員
- ⑥ 難波 陽子 委員
- ⑦ 羽諸 英臣 委員
- ⑧ 平田 利雄 委員

〈事務局：11名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 中村 幸司
- ② 参事兼副館長 中村 和哉
- ③ 主幹兼事業・企画係長 野口 みずほ
- ④ 事業・企画係主査 曾根 啓佑
- ⑤ 事業・企画係主事 藤田 雄一郎
- ⑥ 社会教育指導員 渡邊 京子
- ⑦ 社会教育指導員 永井 紀美子
- ⑧ 青少年宇宙科学館 広田 和与
- ⑨ 博物館 矢野 慧太
- ⑩ うらわ美術館 前田 伽南
- ⑪ 大宮西部図書館 小峰 智仁

## 4 欠席者名

〈委員：3名〉

- ① 青木 光美 委員
- ② 岩井 寛和 委員
- ③ 寺田 道子 委員

5 報告事項

(1) 前回の議事録について

6 協議事項

(1) 令和5年度さいたま市民大学各コース(案)について

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 報告内容

(1) 前回の議事録について、事務局から報告。

10 協議内容

(1) 令和5年度さいたま市民大学各コース(案)について、資料1と2を基に説明。

事務局より、教養Ⅰ・Ⅱ、世界遺産、ライフプラン、ファイナンシャルの各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

【教養Ⅰ・Ⅱコースについて】

平田委員	3つのテーマが幅広いのだが、3つともに興味のある人がどれだけいるだろうか。どのような人を対象と考えているか。
事務局	幅広いテーマを設定することで、1つのジャンルに絞るよりもまずは多様性について知っていただき次につなげるということで、このようなテーマにした。
平田委員	多様性については自分達も取り組んでいるが、やはり会社等から「行ってこい」と言われない限りなかなか人が集まらない。「社会の多様性については様々なテーマがある。その中でまずはこの3つについて学んでみよう」といった投げかけをするのもいいかもしれない。
神保委員長	資料の概要から内容が唐突に感じる。概要と対象・ターゲットで何をテーマにするのかを書くほうがよい。また、問題としては重要だが、それぞれが重い内容になるので、社会に対して重要な問題だから皆さん学びましょうという考え方で集客するか、各テーマに深く関わるターゲット層を呼ぶかで選ぶ言葉などアプローチが異なるのではないか。

桑原委員	市民に広く知ってもらいたいということだと思うが、そうだとすると演題に他人ゴト感がある。タイトルとして「自分らしく生きられる多様性のある社会について考えてみる」といったように、自分ゴトとなる言葉を使うといいのではないか。
安藤副委員長	内容にいきなり「貧困問題」といった言葉が出るので唐突に感じるのだと思う。初回は「人権から多様性を考えてみよう」といった形にすれば、総論として貧困問題なども含められ、その後に繋げやすいと思う。

#### 【世界遺産コースについて】

難波委員	日程だが、夏休みに重なるかどうかで学生が来られるかどうか等、数日の違いで参加者層が変わると思う。
事務局	コロナの状況もあるが、7月に設定したのは、夏休み前に実施して旅行の参考になればと思ったため。
難波委員	それならば、7月前半に寄せてしまうといいと思う。

#### 【ライフプランコースについて】

桑原委員	後日でもいいので、対面式講座についても動画配信をすればいいと思う。日程の関係で出られない人がいたりするともったいない。また、限定公開とする理由は何か。
事務局	受講料を徴収する関係があり、一度は会場で参加していただきたい。欠席者への補講としての配信については、今年度同様行う予定である。
神保委員長	初級と中級で内容の表記が同じなので、実際に広報する際には具体的な中身を盛り込んだ形で差が分かりやすいようにしてほしい（ファイナンシャルコースも同様）。
平田委員	これだけだと税務署のセミナーのように見えてしまう。この講座を受けるとどんなメリットがあるのかが明示されていると、集客につながると思う。
安藤副委員長	初級編のタイトルが「租税制度」という言葉で固い。「わたしたちの暮らしと税金」といった柔らかいタイトルでもいいのではないか。中級は「租税制度を学ぶ」という固い表現でもいい。

【ファイナンシャルコースについて】

平田委員	オンラインは39歳以下優先だが、オンラインだから誰でも見られるほうがいいのか。
事務局	内容が入門編ということに加え、市民大学自体への誘引という目的もあり、特に若い世代へアプローチしたいと思い、優先することとした。
安藤副委員長	そもそも「39歳以下」と年齢を明示する必要があるのか。初心者向け、若い方優先ということでもいいように思う。
事務局	以前、公民館運営審議会において、若年層を対象とした講座を増やす、といった答申をいただいた。その際の若年層の定義が「39歳以下」であったため、準用している。40歳以上も取り込むという意図で「39歳以下優先」としている。
飯塚委員	年齢でなくてもいいのであれば、「ライフプランに変更があった方」「住宅を購入予定の方」といった機会の名前を出すと取っ付きやすいと思う。絞り込んでしますぎるのもよくないが、人生設計の中で変化があったという表現を盛り込むといいのではないか。

事務局より、ITスキル、地域ボランティア、さいたまの魅力、プログラミングの各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

【ITスキルコースについて】

羽諸委員	MOSの資格取得を目指すコースなのか。
事務局	資格取得でなく、検定試験の内容を題材としてPCスキルを学ぶことを想定している。
羽諸委員	申込者が勘違いしないよう、文言の表記には気を付けた方がいい。

【地域ボランティアコースについて】

桑原委員	受講者は受講後にパソコンボランティア以外にも登録できるか。
事務局	パソコンボランティアももちろんだが、公民館で活動している他のパソコン指導ボランティア団体も併せて紹介する予定。パソコンボランティア以外にも登録できる。

井上委員	受講者が講師として活動できるかどうか到達度を測る認定テスト等を行うのか。
事務局	テストはないが、コースの中で受講生が講師となり講義を実践する回もあり、評価を受けたり、習得度を見れたりすることになっている。

【プログラミングコースについて】

平田委員	日程と受講者がそれぞれ分かれているようだが、関係はどのようになっているか。
事務局	各学年で20人を、各日程、計3講座に落とし込む予定。

青少年宇宙科学館、うらわ美術館、大宮西部図書館、博物館より、科学、美術Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、歴史の各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

【科学コースについて】

平田委員	対象者が小学3年生～中学生となっているが、小学3年生で解説員までできるのか不安がある。
青少年宇宙科学館職員	小学校では3年生から理科の授業が始まるため、対象を小学3年生からとした。また、受講ニーズという点でも小学3年生からの方がニーズがある。確かに、解説のスキルとしては小学4年生以降の方が安心だが、その点はスタッフが柔軟にフォローしていく。
羽諸委員	メインの受講者層は小学生になると思うが、開催時間が遅いので保護者は心配なのではないか。
青少年宇宙科学館職員	日中は宇宙劇場が通常稼働しているため、講座のためにプラネタリウム投影回数を減らすわけにはいかない。1日の最終投影が終わってから最短で講座を設定するとこの時間帯になる。

【美術コースⅠ・Ⅱについて】

神保委員長	2つの演題に「スペシャリスト」とあるが、言葉の幅が広いため、どのようなスペシャリストなのか補足した方がいいと思う。
うらわ美術館職員	キャッチーな言葉にした方が受講者にアピールできると思い、この言葉にした。

平田委員	テーマも併せてみると、Ⅰは「浮世絵のスペシャリスト」、Ⅱは「絵本のスペシャリスト」と明記すると分かりやすいと思う。
------	---

【文学Ⅰ・Ⅱコースについて】

井上委員	会場については検討の余地あり、とのことだが、実際のところ会場が変わる可能性はあるのか。
大宮西部図書館職員	管理委託している図書館ではなく、直営図書館を会場にしたいと考えているが、講座を行う十分なスペースと交通の便を兼ね備えた施設が少なく、現在難航している。
神保委員長	受講者の立場に立った対応をお願いしたい。

事務局より、市民企画、パソコンの各コースについて説明をした。

【パソコンコースについて】

羽諸委員	初心者コースと応用コースを交互に行うようだが、初心者コースを受けてから応用コース、という流れなのか。
事務局	講座内容を単純に難易度で分けているので、そうした流れは意識していない。
神保委員長	応用コースが39歳以下優先となっているのはなぜか。
事務局	今年度の応募状況から応用コースの方が39歳以下にニーズがあったことと、応用的な内容は若年層によりニーズがあると考えたことから、優先とした。
安藤副委員長	地域ボランティアコースとの関係で、応用コースの受講者がボランティアコースに進む、といった流れや傾向はあるか。
事務局	そうした傾向は把握していないが、そのような流れができるといいと思う。
井上委員	同じ人が何度も受講するようなことがあると、新しい人が受けられないのでは、と思うが、受講者の把握はしているのか。
事務局	受講履歴は事務局で把握している。また、同じ人が何度も受講することのないよう、募集案内の中で、複数回パソコンコースの同じ講座を受講することはできない旨明記している。

11 その他

令和4年度第3回運営委員会について、事務局から案内。

12 閉会